

「白岡市シティプロモーション戦略（案）」に係るパブリックコメントの結果について

番号	意見の概要	意見に対する考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> ・「いとおかし しらおかし」という破格(?)なものをどうこなすのか心配です。記述の説明で納得する人の確率は極めて低いのではないのでしょうか。また現段階でも政策的担保、つまり何をやるのかが見えません。この事業は政策的裏付けがあってこそ意味があるもので、後段の事業とこのキャッチの関連もあまり感じられません。市民会議も傍聴していますが、行政側も市民側も一方通行で議論らしい議論がないのも残念です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いとをかし」は、枕草紙などに出てくる古語で、「とても趣がある」という意味の言葉です。市民会議や市の職員で構成する戦略策定専門部会において、昨年度実施した市民意識調査や市外住民意識調査の結果をもとに、語呂の良さや覚えやすさなどを考慮しつつ、本市の魅力を伝える本市しか使えないブランドメッセージを検討した結果として、「いとおかし しらおかし」を採用したものです。事業の実施にあたっては、この「いとおかし しらおかし」を、本市を総合的に表現するブランドメッセージとして、サブメッセージ部分にそれぞれのイベントや事業に合う言葉を当てはめて活用することを考えています。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略（案）が全体的漠然とし過ぎている。 ・ブランドメッセージ「いとおかし しらおか」ではその趣旨も市の魅力は全く伝わらないし、インパクトが無い。 ・白岡市最大の弱みは、スーパー・食料品店以外の市内での消費行動が極めて少ない点。都心通勤者のベッドタウンとしての位置づけが強まっている昨今、白岡駅東口前および新白岡駅前にスポーツジムや飲食店（チェーン店）などを誘致することが望ましいのではないかと？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・本戦略（案）は、第5次白岡町総合振興計画を支援するものとして、本市が将来にわたって活力のあるまちであり続けるために、市民満足度の向上、知名度の向上と交流人口の増加、定住人口の増加、企業進出の進展を目標に、各種事業を相互に連携させながら本市の魅力発信を行うものです。ブランドメッセージについては、個別の事業を通じて市の魅力を印象づけるための核になるものとして、語呂の良さや覚えやすさなどを考慮しつつ、本市の魅力を伝える本市しか使えないブランドメッセージを検討し、「いとおかし しらおかし」を採用したものです。今後は、このブランドメッセージとともに表現するサブメッセージ部分に、それぞれのイベントや事業に合う言葉を当てはめて活用することを考えています。産業の誘致については、総合振興計画の土地利用構想に基づき推進を図るものとして、ことからの、いただいた御意見等をもとに第5次白岡町総合振興計画に基づいて、検討していきたいと考えています。

3	<p>・現在、白岡まちづくり研究会では、白岡への愛着を高め白岡の魅力を再認識するために市民協働による「白岡自慢かるた」づくりに取り組んでいます。読み札は公民館住民企画講座で8回にわたり検討し完成しました。平成27年度を目途に絵札を完成し、カルタそのものを完成させたいと思っています。シテイプロモーション短期の取り組みとして「市民の満足度の向上」「知名度の向上と交流人口の増加」についての施策として{白岡自慢かるた}の取り組みをお勧めします。{白岡自慢かるた}は「本市の魅力を最大限アピールし」「本市の地域特性、資源」の優位性を積極的に発信してゆく有効なツールとして活用できると思います。{白岡自慢かるた}づくりを短期のアクションプランに加えれば市民がこのプロモーション戦略の一翼を担うことにもつながります。ご検討ください。</p>	<p>・本戦略(案)では、目的別の事業展開として各種個別事業を掲載していますが、御提案の“白岡自慢カルタ”に限らず、本市の魅力発信に繋がるものについては、今後、個別事業を実施する上で本市の地域資源を紹介するツールとして検討させていただくものとして、本戦略(案)アクションプランの(2)知名度の向上・交流人口の増加、③地域イベントのPRに、「地域資源を活用したPR用品の宣伝及び活用」という内容を加えます。</p>
4	<p>・“白岡自慢カルタ”のシテイプロモーションへの積極活用を提案(理由)</p> <p>1、“白岡自慢カルタ”は既に有志主体で作成済みであり、これを基(原型)に完成可能である。</p> <p>2、シビックプライドを醸成し、市内外への本市の魅力の発信・アピールの為の具体的なツールとして、その活用の効果が大きい期待出来る。</p> <p>3、カルタ大会の開催等地域イベントへの積極活用、教育現場での活用等により、市民各層による本市の魅力最認識と本市への愛着度向上が同時に図られることになる。</p>	<p>・本戦略(案)では、目的別の事業展開として各種個別事業を掲載していますが、御提案の“白岡自慢カルタ”に限らず、本市の魅力発信に繋がるものについては、今後、個別事業を実施する上で本市の地域資源を紹介するツールとして検討させていただくものとして、本戦略(案)アクションプランの(2)知名度の向上・交流人口の増加、③地域イベントのPRに、「地域資源を活用したPR用品の宣伝及び活用」という内容を加えます。</p>

<p>5</p>	<p>・ “シティプロモーション” のアクションプランに以下の2項目追加を提案したい。</p> <p>① 市民協働事業の掘り起し育成による町づくりへの積極的活用 (理由) 近未来に予想される人手不足・予算(資金)不足それに反比例する形で拡大する市民の行政サービスへの要求増大に対処する為の鍵を握るのが市民協働の活用ではないかと考えられる為。</p> <p>② “グリーンビジネス” の創出・拡大・推進 (理由) 本市の優れた自然及び農業環境、大消費地に近接し、海外市場へのアクセスにも秀でた地の利を生かし、農業振興を基本としたグリーンビジネスの推進には大いなる可能性がある。キーワードは“エコ” “グリーン雇用の創出” “地産地消” “グリーンブランド” “海外輸出” “植物工場” “グリーンシティ白岡”</p>	<p>・ 本戦略(案)は本市の魅力を市内・外に効果的に発信することにより、地域の活性化を図ることが主な内容となっています。御提案の「市民協働事業の掘り起し育成による町づくりへの積極的活用」については、市民協働によるまちづくりに関する事業であり、「“グリーンビジネス”の創出・拡大・推進」については、地域資源を生かした新たな産業創出の事業であると考えられます。このため、御提案の2項目については、本戦略(案)ではなく、第5次白岡町総合振興計画に基づく事業として検討していきたいと考えています。</p>
----------	---	---